

愛と夢 in 野間

— 野間中学校 校長だより 7号 — H29.7.20



7月7日（金）は七夕。今年は天気が良かったので牽牛さんと織り姫さんは、無事会うことができたことでしょうか。私は『愛と夢のある学校』になりますようにと『欠席0』の日がありますようにと書いた短冊を笹に飾りました。

わかる喜び・できる楽しさを実感できる生徒の育成を目指して — 習得したことを活用する場の設定を意識した授業実践を通して —

私たち教員は、授業が勝負です。生徒にとって楽しくてわかりやすい授業を目指し、日々努力しています。昨年度は「習得型授業」「活用型授業」を意識して授業を行いました。アンケート結果から、授業開始時の確認小テストなどのような基礎的基本的な内容の確認する場面を継続的に設けることで生徒が「できる楽しさ」を実感できたことが明らかになりました。しかしその一方で、身に付けた知識や技能を活かすことで得られる「わかる」「できる」を実感した生徒はごくわずかでした。そこで、本年度は生徒が身に付けた知識や技能を活かす場の設定を教師が意識することで、「わかる」「できる」を実感させたいと考えました。



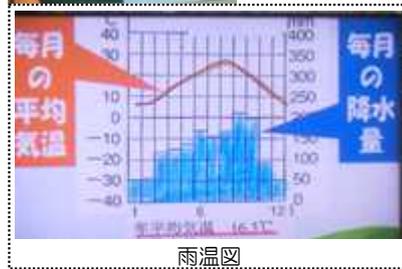
笑顔で授業をする青木桂子先生



本年度も昨年に続き先頭を切って青木桂子先生が6月1日（木）1年A組で社会科の研究授業に挑戦してくれました。今日の授業のテーマは、「雨温図を読み解こう」でした。最初に前時に習った「熱帯雨林気候は高温で雨が多い」や「砂漠気候は高温で雨が少ない」などの特徴を復習しました。そして、今日のメインテーマ、「熱帯雨林、サバナ、・・・氷雪気候がどの雨温図かをグループで話し合いながらあてはめていきます」あてはめることができれば、その理由も考えます。その後、各グループの代表者が発表しました。「温度が高く雨が少ないので砂漠気候です」のように理由も言いながら発表する姿が素晴らしかったです。今日の授業は、本年度のテーマ「活用型の授業＝今までに身に付けた知識・技能を活かして学習に取り組む」を実践することができていました。学校訪問に向けて、研究発表会に向けて、大きな一歩を踏み出すことが出来ました。青木先生、ありがとうございました。



それぞれの気候に雨温図をあてはめます



雨温図

習得したことを活用する場の設定を意識した授業実践Ⅱ

6月9日（金）、清水美貴先生が1年B組で国語科の研究授業をしました。今回も、目指すところは活用型の授業実践で、今までに身につけた文章を読み取る力を使って文章の構成を理解することがテーマです。教材は桑原茂夫著「ちょっと立ち止まって」という論説文です。



図1



図2

まず、段落に番号を記入します。形式段落なので、ほぼ全員の生徒が自分の力で①～⑩までの番号をつけることができました。次に、それぞれの図の内容が書かれている文を探します。みんな真剣に読んでいます。そうすると、図1について書かれているのは段落の②～⑤であること、図2について書かれているのは段落⑥、⑦であること、図3について書かれているのは段落⑧、⑨であることがわかってきます。この活動は、



「若い女性？、老婆？」と問いかける清水先生



真剣に教科書を読んでいます



グループで話し合って意見をまとめ、多くのグループが正解していました。ということで、段落の①は序論、そして②～⑨が本論、⑩が結論となります。本論の②～⑨は3つに分かれていることもわかりました。生徒が今もっている読み取る力を思いっきり使って考えている姿が素晴らしい授業でした。清水美貴先生、ありがとうございました。



身を乗り出して話し合う様子

学校訪問

6月29日(木)、学校訪問があり、美浜町から永田副町長様はじめ町議会議員の皆様、美浜町教育委員会から山本教育長をはじめ5名の教育委員の皆様と黒田指導主事、知多教育事務所から伊藤雅登指導主事にお越しいただき、学校を見ていただきました。今年度は、すべての授業で活用型を意識して指導案を作り、授業に臨みました。今までに身に付けた知識・技能を活用する場面をうまく設定できたでしょうか？3つのグループごとに反省をし、これからの授業や研究発表会に活かしていきたいと思います。



2C 国語 都甲先生



2B 学級活動 森岡先生



3C 理科 赤間先生



3B 社会 井上拓先生



F組 国語 清水先生



1A 数学 松尾先生



1C 理科 北川先生



2C 音楽 名塚先生



1年女子 体育 小野先生



2A 社会 杉村先生



1年男子 保健 三山先生



2A 英語 磯部先生



3C 国語 渥美先生



E組 道徳 田中先生



1B 社会 青木先生

特設授業は、酒井先生が3年A組で英語の授業に取り組んでくれました。本時の学習課題は「友達を誘う会話のスキットを作り、発表しよう」です。前時に練習した「人を誘ったり」「提案したり」「約束したり」する表現を本時はペアで作成し、発表する授業でした。家で作ってきたものをペアで練習していたので、スキットを作る部分が見えなかったのが残念でしたが、ペアで作ったスキットがよくできていて、会話文の練習に積極的に取り組んでいる姿が素晴らしいと感じました。代表で発表した宇航君と竜次君と幸星君のグループもよかったけど、私の見ていたペア(健人君、光君、柳君)もみんなの前で発表できるような内容でなめらかな会話ができていました。中学校3年生の生徒が、楽しそうに英語で会話している姿に驚かされました。酒井先生、特設授業お疲れ様でした。



誘う時、断る時の表現を説明する酒井先生



グループで発表順を決めるジャンケン



拓斗君が家(光太郎君)へ八木君を誘うところ

伊藤指導主事からも「英語は積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていくことが大切で、今日の授業でもコミュニケーションを図る場が設定されており、指導要領の趣旨が活かされている」とお褒めの言葉をいただきました。また、黒田指導主事からは「習得したことを活用する研究で生徒の意欲を引き出そうとしているところに本校の現職教育の価値がある」と評価していただきました。その他にも、たくさんのご指導をいただきました。今後活かして参ります。